

上尾市協働のまちづくり推進事業(平成23年度～令和7年度)

No.	年度	団体名	事業名	事業内容
1	H23	あげお遊憂彩彩 (協働先:総合政策課)	あげお元気アップ事業 (第6回あげお元気祭り)	上尾の街が元気に活気が溢れることを目的に、上尾丸山公園にて県内外のよさこいチームの演舞を行い、上尾を知ってもらう機会とする。また、地元商店の協力の下模擬店を開き、地域の活性化を図る。
2	H23	アッピーリサイクルの会 (協働先:環境政策課)	廃食用油のバイオディーゼル燃料化構想	再生可能なエネルギーの一つである廃食用油を活用し、化石燃料の使用量を削減し、地球温暖化防止に貢献する。そのために、廃食用油の回収、BDF(バイオディーゼル燃料)への加工、ディーゼルエンジン搭載車にて試用運転するまでの実証実験を行う。
3	H23	ぐるっとサイクリング 同好会(協働先:まちづくり 計画課 現:都市計画課)	自転車のまち“あげお”ステップ・アップ作 戦	自転車のまちづくりを推進するために、市内の自転車利用に関する環境調査の実施やサイクルマップの作成、中高年を対象とした自転車の乗り方・楽しみ方講座を開催する。
4	H24	ぐるっとサイクリング 同好会(協働先:まちづくり 計画課 現:都市計画課)	自転車のまち“あげお”ステップ・アップ作 戦～パート2	自転車のまちづくりを推進するために、自転車マナーアップ作戦としてマナーアップ講座の開催やマナーアップモデル路線の設定と走行状況調査等のマナーアップ活動の展開、スタンプラリーの開催等によるサイクルマップの活用等を図る。
5	H24	上尾の遊休農地を 考える会 (協働先:農政課)	農地利活用策『体験型市民農園開設』 推進モデル事業	農業者の高齢化等に伴う遊休農地増加の現況の中、体験型市民農園開設者向けの基礎講座と農園見学の実施、体験型市民農園開設や利用に関するガイドブックの作成等、遊休農地活用について調査・研究する。
6	H24	上尾に「まちの映画館」を つくる会 (協働先:市民活動支援セ ンター)	みんなでつながろう 上尾	映画の上映会という多くの人が集まる場を利用し、希望する市民活動団体のPRを行う時間や場所をつくる。これにより、来場者は映画鑑賞という楽しみに加え、市民活動や市民活動団体に対する認識を深めるなど、映画を通じた地域交流につなげていく。
7	H25	原市みどりの再生ボラ ンティアの会 (協働先:みどり公園 課)	ふるさとの緑に景観地保全・再生事業	市内に2か所あるふるさと緑の景観地を守るため、原市ふるさとの緑の景観地の雑木林の再生や、藤波・中分ふるさとの緑の景観地の保全・整備を行う。また、原市ふるさとの緑の景観地を広く市民に知ってもらうために、地元の中学校や高校とコンサートを開催する。
8	H25	Reva復興ボランティア チーム・上尾 (協働先:市民安全課)	「3.11 あの日を忘れない」	震災を風化させないため、今必要とされる被災地支援のあり方と市民の防災意識の向上を目指して、震災後の陸前高田市が舞台となったドキュメンタリー映画の上映や被災地の方・ボランティアの方による講演を行う。
9	H25	一般社団法人セーフティ ネット(協働先:社会福 祉課 現:福祉総務課)	拡大版キズナプロジェクトの展開と つながるサロンの開設	地域の人々が楽しみながら交流できる場として、アロマ作りやクッキングといったキズナプロジェクトの実施や茶話会や健康相談・体操などのサロン事業を通じて、地域内ネットワークを広げ、セーフティネット構築に向けたヒアリングや検討を行う。
10	H26	仮認定特定非営利活動 法人ふれあいねっと (協働先:健康増進課)	親子パラソルカフェ	尾山台団地を中心に、子どもに折り紙や簡単な工作等を指導したり、紙芝居や絵本の読み聞かせを行う。市の保健師による、子育てセミナーや相談会を実施することにより、子どもの健全な発育と母親同士の相互交流の促進、並びに母親の孤立を防止する。
11	H26	特定非営利活動法人 障がい児者芸術クラブ (協働先:障害福祉課)	第13回「ひだまりの小さな書作展」& 相田ひろきの世界30th Anniversary	障がい児に対し、文化・芸術を通して社会参加への喜びと、互いに助け合いながら、自らの意思で行動する人となることを目指して、知的に障害のある子どもたちの作品展を実施する。

No.	年度	団体名	事業名	事業内容
12	H26	不登校の子どもを持つ親の会 ムーミンの会(協働先:子ども若者相談センター 現:教育センター)	ひきこもっている若者への支援	不登校・引きこもりの若者の居場所作りや市内の働く場所の開拓等、若者の力を生かす働き方につながる援助のシステムを考える。
13	H27	上尾市美術家協会(協働先:商工課)	第13回上尾街角美術館	地域の協力店舗や企業の協力を得て、絵画や書、工芸品、写真等を展示し、多くの市民に文化芸術に親んでもらうことで、市民文化の向上や地域の交流、中心市街地の活性化を図る。
14	H27	竹とんぼクラブ(協働先:青少年課)	お爺ちゃんと子どもdeむかし遊び	竹とんぼづくりを通じ、ものづくりの楽しさを知ってもらうと共に、シニア世代の方々と子どもたちの交流や地域の関わりのきっかけづくりとする。
15	H27	一般社団法人埼玉県助産師会上尾地区会(協働先:健康増進課)	いっしょにお産、楽しく育児	親子で楽しめるイベントを通し、実施された企画を地域活動につないでいくもの。子育て世代が妊娠、出産、育児を笑顔で過ごせるよう助産師として支援する。
16	H27	不登校の子どもを持つ親の会 ムーミンの会(協働先:子ども若者相談センター 現:教育センター)	ひきこもっている若者への支援	昨年学んだ事を生かしながら、若者の力を生かせるような就労支援ができるよう、具体的な就労までのサポーター支援モデルを目指す。
17	H28	特定非営利活動法人子育て支援あげお(協働先:健康増進課)	ウェルカム ママカフェ	出産後慣れない子育てに不安を持っているお母さんたちに子どもと一緒にくつろげる居場所を提供し、お話ししながら日頃の育児相談を受け、子育てに安心感を持っていただく。
18	H28	アップー竹とんぼクラブ(協働先:青少年課)	大人と子どもdeむかし遊び 竹とんぼステップアップ	上尾市次世代育成支援(地域における子育て支援)の一環として、指導者には「竹とんぼ」製作の他、「ガリガリとんぼ」や「うぐいす笛」づくりも同時にマスターしてもらい、竹とんぼ教室や竹とんぼ大会で子どもたちに物づくりの楽しさを伝える。
19	H28	特定非営利活動法人なごみ(協働先:子ども支援課)	貧困家庭等の小学生の学習支援	子どもの貧困問題の専門家呼びセミナー、ディスカッションの場を設け、6人に1人が貧困状態にある現状を皆さんに認識、理解をしてもらう。そして問題解決に向け、継続的な活動支援体制を構築していく。
20	H28	特定非営利活動法人彩の国さいたま総合型地域スポーツクラブフォルテ(協働先:子ども支援課)	心も！ からだも！ 笑顔もはずむ元気プロジェクト	体操教室を多く経験している指導者を中心に親子体操教室を開催し、親子で一緒に楽しく運動する中で、子育て中のお父さんお母さんと子どもたちのコミュニケーションを図る。
21	H28	High Five Mom 埼玉ママ(協働先:商工課)	女性起業家の創造推進と事業継続サポート事業	「駅ナカマルシェ」「学びセミナー」「交流会」を通じ、自身の趣味やスキルを活かして活動する女性起業家への創業の促進と事業の継続サポートを行う。そしてこれらの取り組みを通じて女性や地域の賑わい作りにつなげていく。
22	H29	柏座地区街づくり協議会(協働先:建築安全課)	地震時の家具の転倒防止対策の支援活動	地震時の家具転倒防止対策の支援活動で、柏座地区の単身高齢者を対象に家具の固定化を図り災害時の避難支援体制の充実を図る。
23	H29	あげお未来フォーラム21(協働先:福祉総務課)	上尾市地域福祉推進協働事業	第5次上尾市地域福祉活動計画中の、地域や地域住民が取り組むことが良いとされる部分を当団体が取り組み住民の抱える課題を同じ市民レベルで共有する。そのメリットを生かした啓発活動が効果的と考え、行政と役割分担して協働事業として取り組む。

No.	年度	団体名	事業名	事業内容
24	H29	NPO法人彩の子ネットワーク (協働先:子ども支援課)	「大きくなったね」×「大きくなってね」プロジェクト	洋服や必要な物を孤立した状況の子どもに渡すことを、上尾市の関係機関との連携により実施し格差社会の中の子育てを変えていく。また、物品提供、保管場所、仕分けの人材など、この事業を実施していくことで、子ども・子育てを応援する地域の人の流れを起こしていく。また、子育てセミナー、コンサート及びベビー・チャイルドグッズの交歓会(交換)を開催し当事業を周知する。
25	H29	社会福祉法人あらぐさ福祉会 (協働先:都市計画課)	空き店舗を活用した富士見団地の地域拠点づくり	埼玉県住宅供給公社の補助金で空き店舗を改修し、パン工場を作る。そして当事業で、その一部の場所を使い障害者を雇用し、コミュニティの場としての喫茶店、パン販売をする事業。また、パンの配達などを通じて、高齢者を含めた地域の見守りも行う。
26	H29	特定非営利活動法人助け合い村 (協働先:高齢介護課)	成年後見人制度の啓発事業	成年後見人制度の啓発事業であり、公民館を使用した講座の開催。講座内容は初歩的なものとなっており、成年後見人をする側、受ける側の両者を対象としている。
27	H30	特例認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・埼玉 埼玉上尾ブロック(協働先:障害福祉課)	スペシャルオリンピックス日本・埼玉 アート書道&ダンスプログラム	運動の苦手な知的障がい者向けに書道やダンスプログラムを企画し参加を促す事業。書道は、『青空ふで遊び』と称して、ゆりが丘公園にて青空の下で実施、ダンスについては、大谷公民館体育館を使用して実施。
28	H30	NPO法人彩の子ネットワーク (協働先:子ども支援課)	生まれてくる赤ちゃんに“スタイ”を贈ろうキャンペーン事業	平成29年に実施した事業のステップアップ事業であり、今回は、「お洋服の思い出サロン」、「ワンポイントコーディネーター教室」、「こんにちは赤ちゃん」の開催を新たにを行い、フェスティバルについても今回は広く意見を求め実行委員会形式で実施。
29	H30	聖学院大学政治経済学部八木ゼミ (協働先:商工課)	まちなか賑わいマップ作成事業	上尾駅から運動施設までの沿道や周辺をフィールドワークし、学生が立ち寄りそうな地域資源を発掘することを目的に地元商店街と協力し、「セールスポイント」、「学生向け応援メッセージ」を取材により収集する。それをマップ化し、紙ベース及びWeb上で公開する。また、スポーツ大会の開催に合わせてマップを配布する等、事業のPRを行う。
30	H30	上尾市国際交流協会 (協働先:市民協働推進課)	「AGA子ども教室」プロジェクト	外国人の子供に対して全般的な学習指導を行える指導員を養成するための入門講座として、東京学芸大学教授の斎藤ひろみ先生チームを講師に招き、研修を実施。研修内容は、①子供への日本語指導法②児童心理③文化的背景の異なる子供を教えるときの接し方等で、5回の研修を実施。
31	H30	特定非営利活動法人ふれあいねっと(協働先:市民協働推進課)	尾山台・原市・瓦葺 多文化交流フェア「うちのまちの世界のごはん」	尾山台団地自治会など地域住民団体等の協力により、「多文化交流フェア実行委員会」を組織し、イベントの企画、実施内容を検討し、イベントを実施。イベントでは、華道、茶道、着付け、書道など日本文化の体験や外国人による母国紹介、踊りや日本語スピーチ大会等を開催した。また、実施にあたっては、県立上尾鷹の台高校や瓦葺中学校の生徒たちにも呼びかけ、広く協力者(ボランティア)を募った。
32	H31	上尾スズムシの会 (協働先:総務課)	「鈴虫のまち上尾」(まちづくり)推進事業	市内のいたるところで鈴虫の音色が響く「心安らぐ憩いのまち」上尾市をシティセールスし、鈴虫をとおして個性的で魅力あるまちづくりを創造する事業。市内各公共施設等に鈴虫の容器を設置するほか、年3回無料頒布会を実施し、多くの市民に鈴虫の飼育を体験してもらおう。飼育のための勉強会、リーフレットなどを作成配布し鈴虫の魅力を発信し、他の自治体との差別化を図る。

No.	年度	団体名	事業名	事業内容
33	H31	上尾市国際交流協会 (協働先:市民協働推進課)	AGA子ども教室プロジェクト パート2	外国人市民の増加に伴う日本語を母語としない児童・生徒への支援事業で、昨年度に続いて2回目の提案事業。昨年度事業では、日本語指導と、全般的な学習指導を行える指導員の養成を中心に行ったが、本年度はAGA子ども教室を計13回、8月に夏休み集中コースを5日間実施するなど、日本語指導と学習支援の一層の拡充を図る。
34	H31	ハッピーアイランド (協働先:西貝塚環境センター)	身近にできる地球にいいこと ～紙ごみを分別しよう!～	可燃ごみの中に含まれるリサイクル可能な紙ごみを分別すれば、ごみの大幅な減量につながる。特に雑紙については資源ごみとして分別する知識や習慣がない家庭が多い。家庭用紙ごみ分別袋の配布、紙ごみ分別レンジャーの養成、ごみ分別ゲームの実施など、市民が親しみ易い方法で、地域や学校と連携して市民の生活の中で、紙ごみを分別する意識の定着を図る事業。
35	H31	NPO法人マミング埼玉 (協働先:環境政策課)	AGECOstyle22万人で地球を救おう! (地球温暖化対策の啓発)	市民を対象に、身近にできる地球温暖化対策をわかりやすく伝え、「あげおでエコな暮らし方」が市民生活に浸透することを目指す。エコでお得なまち歩き「クールシェアスポットラリー」やライトダウンイベント、キャンドルナイトカフェの催しを開催し、楽しみながら地球温暖化対策に取り組み、日常生活で習慣化することを目指す事業。
36	H31	特定非営利活動法人ふれあいねっと(協働先:市民協働推進課)	尾山台・原市・瓦葺 多文化交流フェア	外国人市民が地域のコミュニティに溶け込みやすい環境をつくり、地域の一員として活躍できる多文化共生社会をつくる取り組み。昨年度に引き続き2回目の多文化交流フェアを実施する。今年度は、外国人を交えた地域防災対策、外国人向けの暮らし支援など新たな企画を盛り込んで実施。
37	R2	上尾地域リハビリテーションネットワーク (協働先:高齢介護課)	いつまでも元気な高齢者を目指す～体操で繋がろう!～	コロナ禍で、活動量が低下した高齢者を対象に、家でもできる体操動画をSNSで配信したり、自治会回覧等を活用して運動や健康のアドバイスをを行った。アッピー元気体操が休止されるなか、在宅で運動することで筋力アップを目指し、転倒防止など介護予防につなげていこうという事業。
38	R3	認定NPO法人彩の子ネットワーク (協働先:健康増進課)	あげおリトルベビーハンドブック作成事業	通常の母子健康手帳では記載が難しい、早産等による極低出生体重児の身長や体重などの成長や発達の記録を、個人差に配慮したかたちで記録・確認することができる「リトルベビーハンドブック」を作成する。保護者の心理的不安に寄り添うための情報や市の支援サービスを掲載し、安心して子育てできる支援を充実させる。
39	R3	障がい児者芸術クラブ (協働先:障害福祉課)	20周年記念「ひだまりの小さな書作展」	知的に障がいのある子ども達への理解を深める目的で、自閉症やダウン症、学習障害等を抱える子どもたちの書や絵画、工作などを展示する「ひだまりの小さな書作展」(毎年開催)の20周年記念事業を開催する。コミュニティセンターと市民ギャラリーの二つの会場で展覧会を開催する他、コミュニティセンターホールではイベント公演を開催する。
40	R3	特定非営利活動法人ふれあいねっと(協働先:市民協働推進課)	青空ひろば	尾山台団地の集会所及び旧管理センター前ひろばを利用して、原市、尾山台・瓦葺周辺の小中学生から高齢者まで幅広い世代がくつろげる「青空ひろば」を毎月1回程度、季節に合った企画やテーマを設けて開催する。子どもたちには、サードプレイス(家庭、学校、塾でもない居心地のよい場所)を、高齢者にはフレイル対策になる「居場所」を作り、地域社会のつながりを深めていこうという事業。

No.	年度	団体名	事業名	事業内容
41	R3	上尾地域リハビリテーションネットワーク (協働先:高齢介護課)	アゲリンピック ~4年に1度の祭典を満喫しよう!~	コロナ禍で高齢者を対象とした地域の活動の場が依然休止した状況で、昨年度に引き続き新しい生活様式に基づく介護予防(フレイル対策)を提案していく事業。昨年度実施したアンケート調査の結果を踏まえて、オンラインを活用した介護予防体操の拡充や新企画「アゲリンピック」を開催する。健康情報紙「アップテール通信」は、自治会回覧や関係施設に設置し継続発行する。
42	R3	特定非営利活動法人NPOすけっと(協働先:市民協働推進課)	高齢者世帯の草取り援助	住民の高齢化が進む「三井住宅」をモデル地区にして、高齢者世帯の草取り、家屋周り庭の整備をする。また、家事的なニーズを聞き取り、重いものの移動やゴミ出しを行う。三井区自治会と密接に連携することにより、サービスを行うなかで察知した高齢者の困りごと等を報告、情報交換を行い適切な対応につなげる。
43	R4	一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ(協働先:子ども家庭総合支援センター 現:教育センター)	街の止まり木@アトリエコルト	不登校の子どもたちを週1回あずかり、安心して過ごせる居場所を提供する。子どもたちは、みんなで昼食を作って食べたり、工作や読書、散歩などをして過ごし、立場の近い子ども同士が徐々につながりを作っていきける環境をつくる。また、保護者に呼びかけ親同士の交流や勉強会を催し、適切な情報を提供することで保護者の安心と子どもの健全な成長を支援する事業。
44	R4	特定非営利活動法人ふれあいねっと(協働先:市民協働推進課)	青空ひろばfeat.music	昨年度に引き続き、尾山台団地の集会所及び旧管理センター前ひろばを利用して「青空ひろば」を毎月第1土曜日午後開催する。子どもたちには「サードプレイス」(家庭、学校、塾でもない居心地のよい場所)を、高齢者にはフレイル対策を、地域のつながりとともに深めていこうという事業。今年度は各回とも、地域から楽器の演奏者や出演者を募って音楽会を開催する。
45	R4	認定NPO法人彩の子ネットワーク(協働先:子ども支援課)	子ども服交歓会で子育て支援のまちづくり事業	子どもの貧困や虐待、子育ての孤立化といった課題の解決に向けて、金銭を介在せず、子どもの成長を喜んで次に着る子どもにまわしていく「子ども服交歓会」を定期的に開催する。情報ツールを活用し自治体、企業、学生など広くボランティアを募り、参加したボランティア同士が知り合い、繋がり、地域のみんな子ども・子育てを応援していくネットワーク作りをする。
46	R4	HAGURUMA上尾支部(協働先:健康増進課)	理学療法士によるウィメンズヘルスケア事業	産後・更年期世代の女性向けにヘルスケア講座を開催し、自身の身体や健康に目を向ける機会を提供する。講座をとおして身体の変化を知り正しいエクササイズやセルフケアを学ぶことで健康意識の向上や、運動習慣の獲得につながることを期待できる。また、共通の悩みや不安を抱えた同世代の地域女性たちが交流し、心も身体もリフレッシュできる場を提供する事業。
47	R5	一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ(協働先:子ども家庭総合支援センター 現:教育センター)	街の止まり木@アトリエコルト	①不登校の子どもたちの居場所事業:不登校の子どもたちを週一回あずかり、みんなでお昼ご飯を作って食べたり、工作や読書、散歩などをして過ごし近い立場の子ども同士の関係性が構築できる場を提供する。 ②不登校保護者の保護者会:「保護者の会」「父親カフェ」を実施する。 ③不登校交流会:親子・家族ぐるみで交流する機会を提供する。 ④映画上映会:不登校の生徒児童の心理やそれを支える環境に関する映画の上映会

No.	年度	団体名	事業名	事業内容
48	R5	特定非営利活動法人ふれあいねっと (協働先:市民協働推進課)	青空ひろば～本のある居場所～	尾山台団地の集会所及び旧管理センター前ひろばを利用して、原市、尾山台・瓦葺周辺の小中学生から高齢者まで幅広い世代がくつろげる「青空ひろば」を毎月1回程度、季節に合った企画やテーマを設けて開催する。子どもたちには、家庭、学校、塾でもない居心地のよい居場所を、高齢者にはフレイル対策の場を、地域のつながりを深めることで提供する事業。今年度は「本」をテーマに実施。
49	R5	認定特定非営利活動法人彩の子ネットワーク (協働先:子ども支援課)	子ども服交歓会で子育て支援のまちづくり事業	①子ども服交歓会の開催:子どもの貧困や虐待、子育ての孤立化といった課題の解決に向けて、金銭を介在せず子どもの成長を喜んで次に着る子どもにまわしていく「子ども服交歓会」を定期的に開催する。 ②ボランティアネットワークの構築:情報ツールを活用し自治体、企業、学生など広くボランティアを募る。 ③「夢未来miniフェスタ」の開催:子ども服交歓会と同時に子どもがリアルに体験できる「学び」や「遊び」の場を提供(今年度の新企画)
50	R5	さいたま断熱改修会議上尾部会 (協働先:環境政策課)	ゼロカーボンを目指す健康で快適な住まいづくり推進活動	市内居住者に向けて、住宅の断熱改修が省エネや健康に有意義であることを理解してもらうためのセミナーを環境政策課や健康増進課の協力を得て開催する。その際に、実際の断熱改修を行う協力者の被験者住宅を募集し、住宅の断熱状況やエネルギー消費との関係、効果の実証実験を行う。測定結果報告のチラシを作成し、上尾市の目指す脱炭素化の実現に資する施策の展開に協力する。
51	R5	日本防災共育協会埼玉支部(協働先:青少年課)	生きる力を育てる防災キャンプ	小学校4～6年生を対象に3回の体験講座を行う。 1回目:日帰り防災キャンプ(1)オリエンテーション、座学、ポリ袋調理、テント設営、火起こし体験 2回目:日帰り防災キャンプ(2)テント設営、座学、防災ワークショップ、ロープワーク、タープシェルター設営、撤収 3回目:親子で防災を考えようキャンプ体験振り返り「考える防災」をテーマに安全環境とローリングストックなど家庭で災害時の生き残り戦略を考える。
52	R6	さいたま断熱改修会議上尾部会 (協働先:環境政策課)	ゼロカーボンを目指す健康で快適な住まいづくり推進活動	ゼロカーボンを目指す健康で快適な住まいづくりを目的に。市内の住宅の断熱改修の推進、市民生活の向上と住宅の省エネ化を図るとともに、市の目指す脱炭素化の実現に資する施策の展開に協力する。 1)上尾市との共催で「住宅断熱改修セミナー」 2)モデル住宅断熱改修協力者の募集・実施 3)学校断熱改修の効果測定等協力 4)断熱改修に関する各種関係団体との懇談 5)断熱改修による測定結果等の報告書の作成 6)事業報告書の作成
53	R6	不登校の子どもを持つ親の会 ムーミンの会 (協働先:教育センター)	不登校の子どもを持つ親の会への支援事業	不登校の子どもを持つ親が一人で悩まないで学び合える場を提供することを目的に、講演および不登校経験者の体験を聞く会を開く。また、世話人会を月1回開き運営の打ち合わせをする。

No.	年度	団体名	事業名	事業内容
54	R6	一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ (協働先:教育センター)	不登校に関する理解と向上のための学習支援	不登校に関する理解の向上のための学習活動として、専門家を招き不登校に関心をもつ関係者、市民などを対象に講演会とディスカッションを行い、交流を図る。また、不登校児童生徒の居場所のボランティアの募集も行い、支援体制の拡大を図る。
55	R6	芝浦工業大学サテライトラボ上尾運営会議 (協働先:都市計画課)	フリーDIYスペースと多世代居場所のまちづくり	公民学連携拠点アーバンデザインセンター上尾の設置運営のため、原市団地のサテライトラボの改装を行い、こどもや高齢者、さらに大人たちの居場所づくりおよびコミュニティの場を作る。また、市民DIYによる手作り工房の実現を図り、高齢者住まいの改善や地域イベントのためのベンチや屋台、調度品の制作を行うための工房づくりを計画する。また、工房では、学生も参加しDIYの指導や製作協力を行う。
56	R6	ReVA復興ボランティアチーム・上尾 (協働先:危機管理防災課)	能登半島地震から1年～被災者・支援者から学ぶ～	能登半島地震の被災地復興を応援するために下記を実施する。 ・あげお産業祭で被災地域物産店の出店、募金活動、パネル展示などを行う。 ・講演会を開催し、被災者や支援者から能登の現状や体験談、支援活動の様子を発表する。また、ReVA、学生、長期支援者からの報告を行う。ロビーではパネル展示も行う。
57	R7	芝浦工業大学サテライトラボ上尾運営会議 (協働先:都市計画課)	フリーDIYスペースと多世代居場所のまちづくり《展開編》	・2024年度に完成させたDIY工房及びその工具を利用してリノベーションしたみんなの秘密基地を活用して活動の実証実験を行う。さらに原市団地の特定地区だけでなく全市的課題解決に共通することを探求する。これがアーバンデザインセンター上尾を設置する場合の効果の一つとして企画運営するものである。
58	R7	ReVA復興ボランティアチーム・上尾 (協働先:危機管理防災課)	能登半島地震から2年～災害に備えるために～	・能登半島地震・豪雨災害等の被災地の復興を応援するとともに、自然災害を身近な出来事ととらえ、日頃の備えを啓発するために ①あげお産業祭の出店、パネル展示、災害支援車両の活用事例を兼ねた展示をする。 ②講演会等を実施し、被災者や支援者等からお話を伺う機会を通して、災害に備えるヒントを学び、自助・共助の心構えを培う。
59	R7	一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ (協働先:教育センター)	不登校に関する理解の向上のための体験活動～ハタキチコルト～	・不登校の保護者と子どもと一緒に参加して不登校から「主体的に学び育っていける」環境設定について実践できる場を開く。 ・上尾市戸崎にある「かしの木ファーム」の畑を借りて、野菜を植え、育て、収穫して調理を行う。農業を学び、育て、収穫する喜びと楽しさを味わいながら、仲間と協働して作業をして絆をはぐくむ。農作業には計画や計算も必要であり、楽しみながら多くの経験と学びを得ることができる。
60	R7	上尾市ボランティア連絡会 (協働先:福祉総務課)	第3回あげおボランティア祭り	・地域住民との交流と連携を深め、街の活性化を図り、近隣大学の学生の方々との交流と連携を深めることにより、若さ溢れる街づくりに取り組む。 ・ボランティアの楽しさを実感してもらい、誰もがボランティアとしてできる風土としていく。
61	R7	特定非営利活動法人子育て支援あげお (協働先:こども家庭保健課)	・ベビーサロン 一人でないよ子育ては[生まれてきてありがとう]	・安全で関わりの持てる初めての子供と一緒に、同年代の子供(0か月から6か月)を持つママの友人作り。社会デビューとして、子育て不安の解消、保育士によるベビー体操、絵本の紹介、簡単な相談などを行い、毎回成長のバロメーターである体重測定、身長測定などを行う。 ・毎回、季節のごろ寝アートの写真を撮り、足形スタンプを印刷パウチして提供する。 ・ごろ寝アートは、子育てに追われがちなママにとって育児の中でのゆとりでもある。